

1703年元禄地震における 相模国足柄郡・駿河国駿東郡御厨・伊豆国東岸地域の被害数

矢田 俊文

1. はじめに

本稿の目的は、確実な史料により、元禄16年（1703）11月23日に起った元禄地震における相模国・駿河国駿東郡の被害と相模国足柄郡・駿河国駿東郡御厨・伊豆国東岸地域の1村当りの平均家屋倒壊数・死亡者数を明らかにすることにより、大きな被害を受けた地域の特質を明確にすることにある。

2. 相模国・駿河国駿東郡御厨における被害

2では、確かな史料によって、相模国・駿河国駿東郡地域における元禄地震の被害状況を検討する。

「祐之地震道記」によって東海道の元禄地震の被害状況を考える。「祐之地震道記」は梨本祐之ら京都下鴨神社神官一行が元禄16年に戸塚宿（横浜市）で地震に遭遇し、京都に無事帰還するまでの道中記である。

梨本祐之一行は被害の大きかった平塚宿と小田原宿をさけて、大磯宿と湯本に宿泊している。梨本祐之一行は戸塚宿から箱根を越えて東海道沿いに京都に無事にもどるために、より被害が少なく宿泊できる宿場を選択した。そして、的確な判断のもとに宿泊先を定め駿河国沼津宿まで東海道を通過して被災地を抜け出した。

梨本祐之一行は東海道筋の宿泊可能な地点の情報をあつめ、被害がより軽微な宿場である大磯・湯本・沼津を選んで宿泊した。

大磯・湯本・沼津に宿泊することを決めたのはいつか。25日、使者を藤沢宿（神奈川県藤沢市）まで派遣し、沼津宿から出てきた旅人に東海道の様子を聞いている。この時に入手した情報は、沼津（静岡県沼津市）は揺れが厳しいように思ったが、人家が転倒したことはない。畑村（箱根町）は被害が出ているが、湯本村（箱根町）はそれほどの被害はない。そのため旅客は湯本に泊るという。小田原は残った駅家は1軒もない。大磯（大磯町）は駅家が4、5軒残っている。旅人は大磯宿に宿泊するとのことだ、というものであった。25日に得た情報が判断の決め手となった。

こうして事前に入手した情報により、梨本祐之一行は小田原宿と畑村ではなく、大磯宿（26日泊）と湯本（27日泊）と沼津宿（28日泊）を宿泊地に選んだ。

3. 相模国足柄郡・駿河国駿東郡御厨・伊豆国東岸地域の1村当り平均家屋倒壊数・死亡者数

3では、幕府へ報告された被害報告書等の文書を使用して相模国足柄郡地域・駿河国駿東郡御厨・伊豆国東岸地域の1村当り平均家屋倒壊数・死亡者数を検討する。

駿東郡北部の御殿場市・小山町地域に多くの所領を持つ稲葉正辰領、小田原藩領と近接する稲葉正直領の被害数は、幕府へ提出した元禄地震の被害報告書（「楽只堂年録」巻133）に記されている。

小田原藩の被害数は、幕府への報告書によりわかる。小田原藩による被害報告書は、相模領・駿河領・伊豆領が別に記載されているので、元禄16年に近い時期の村数の村数を確定した上で、相模領・駿河領（駿東郡地域）・伊豆領（伊豆東岸地域）ごとに一村当たりの平均家屋倒壊数・死亡者数を明確にした。

4. おわりに

上記の方法で明らかにした点は、以下の6点である。

- ① 大磯宿は平塚宿よりも被害は軽微であるため、宿泊することができた。
- ② 湯本宿の被害は他と比べ軽微であるため、宿泊することができた。
- ③ 駿河国沼津宿の被害は軽微であるため、宿泊することができた。
- ④ 御殿場市・小山町地域の1村当りの平均被害数は、駿河国駿東郡地域の中では多いが、相模国足柄郡地域と比較すると少ない。
- ⑤ 稲葉正直領（中井町地域）の1村当りの平均家屋倒壊数は、小田原藩相模領・駿河領と比べて高い。
- ⑥ 小田原藩伊豆領の1村当り平均死亡者数は第4表の他の地域と比較してきわめて高い。

以上の①～⑥について、その地域の特質と原因について論じる。

大磯宿と平塚宿の被害の違いは地盤の違いによるものと思われる。大磯と平塚は1912年大正関東地震でも被害を受けているが、この時も大磯よりも平塚の方が被害は大きい。この被害の違いについて、『神奈川県震災誌』は、大磯町の地盤は岩石なので市街地の潰家は少ない。これに反して平塚町は激高を極めた、と記している。1912年大正関東地震と同様に、1703年元禄地震においても相対的に地盤がよい大磯宿は、平塚宿と比較して被害が少なかったと考えられる。

稲葉正直領の1村当りの家屋倒壊数が小田原藩相模領・駿河領の中で最も高い理由は、稲葉正直領（中井町地域）が活断層に近い地域であるためと考えられる。また同様に御殿場市・小山町地域の1村当り被害数が駿河国駿東郡地域の中で高い理由は、御殿場市・小山町地域が活断層により近いためであると考えられる。小田原藩伊豆領の1村当り死亡者数は他の地域と比較してきわめて高いが、それは被害が津波によるものであると考えられる。

[付記] 本稿は、矢田俊文「1703年元禄地震における相模国足柄郡・駿河国駿東郡御厨・伊豆国東岸地域の被害数」『資料学研究』11号、2014年を再編集したものである。詳しくは論文をご覧いただきたい。